



2016年度 決算報告

三菱自動車工業株式会社

2017年5月9日

2016年度 実績



『アウトランダーPHEV』

2016年度 業績サマリー【前年度対比、前回予想対比】



(単位：億円、千台)

	FY15 ('15/4-'16/3) 実績	FY16 ('16/4-'17/3) 実績	増減		1月公表値	増減	
			差異	率		差異	率
売上高	22,678	19,066	-3,612	-16%	18,900	+166	+1%
営業利益 (利益率)	1,384 (6.1%)	51 (0.3%)	-1,333	-96%	10 (0.1%)	+41	+412%
経常利益	1,410	89	-1,321	-94%	15	+74	+496%
当期純利益*	726	-1,985	-2,711	-	-2,020	+35	+2%
販売台数 (小売台数)	1,048	926	-122	-12%	921	+5	+1%

*親会社株主に帰属する当期純利益

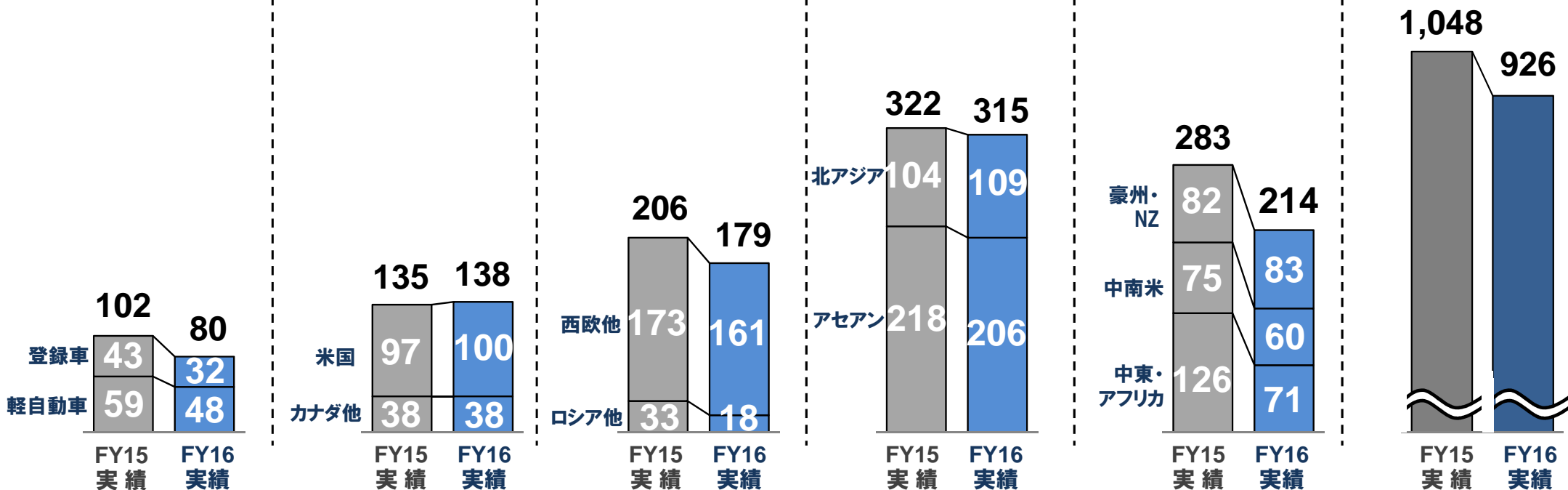
2016年度 小売台数実績 【前年度対比】



日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
----	----	----	-----	-----	----

《前年度実績対比増減》					
- 22 (- 22%)	+ 3 (+ 2%)	- 27 (- 13%)	- 7 (- 2%)	- 69 (- 24%)	- 122 (- 12%)

(単位：千台)



注) 16年度小売台数実績は速報値。

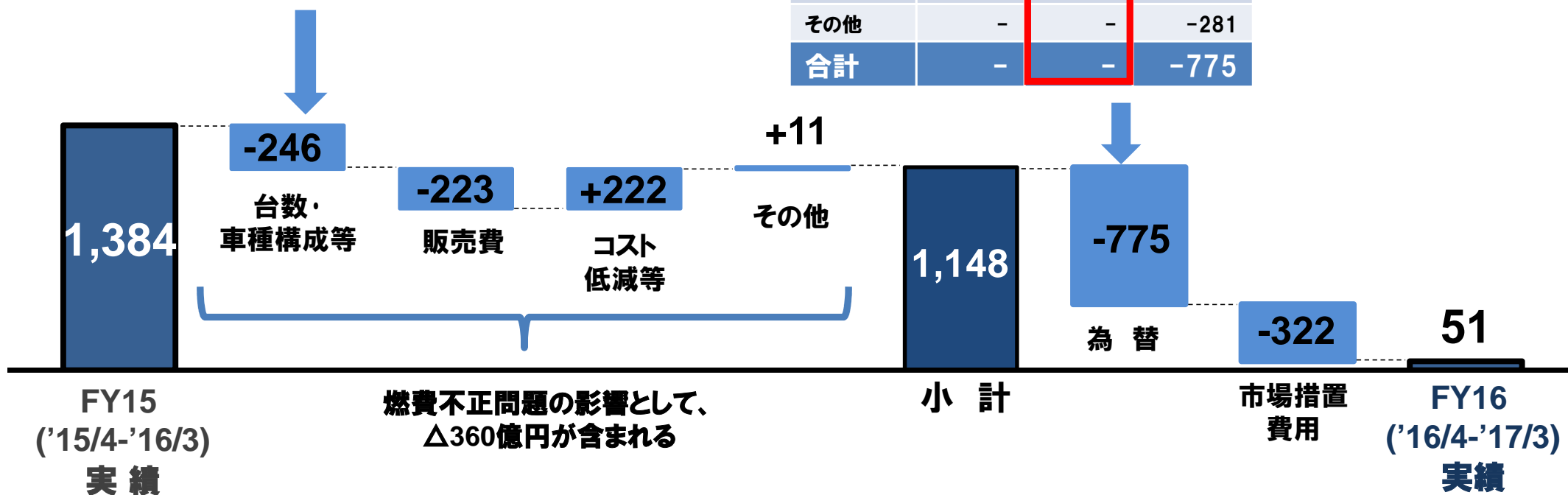
2016年度 営業利益増減分析【前年度対比】



(単位：億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	-169
北米	+81
欧州	+45
アジア	-92
その他	-111
合計	-246

主要通貨別内訳			
	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY15	FY16	
米ドル	121	109	-298
ユーロ	133	119	-223
豪ドル	88	82	-107
タイバーツ	3.44	3.12	+327
英ポンド	182	140	-193
その他	-	-	-281
合計	-	-	-775



2016年度 BSサマリー



(単位: 億円)

	FY15 (16/3末) 実績	FY16 (17/3末) 実績	増減
資産合計	14,337	14,844	+ 507
うち現金及び預金	4,534	5,568	+ 1,034
負債合計	7,483	7,809	+ 326
うち有利子負債	271	156	- 115
純資産合計	6,854	7,035	+ 181
自己資本 (自己資本比率)	6,712 (46.8%)	6,905 (46.5%)	+ 193
ネットキャッシュ	4,263	5,412	+1,149

2017年度 業績見通し



『エクリプス クロス』

2017年度 業績サマリー【前年度対比】



～ 当期純利益は2015年度に近い水準に回復 ～

(単位: 億円、千台)

	FY16 ('16/4-'17/3) 実績	FY17 ('17/4-'18/3) 見通し	増減	
			差異	率
売上高	19,066	20,000	+934	+5%
営業利益 (利益率)	51 (0.3%)	700 (3.5%)	+649	+1,268%
経常利益	89	790	+701	+783%
当期純利益*	-1,985	680	+2,665	-
販売台数 (小売台数)	926	1,029	+103	+11%

*親会社株主に帰属する当期純利益

2017年度 小売台数見通し【前年度対比】

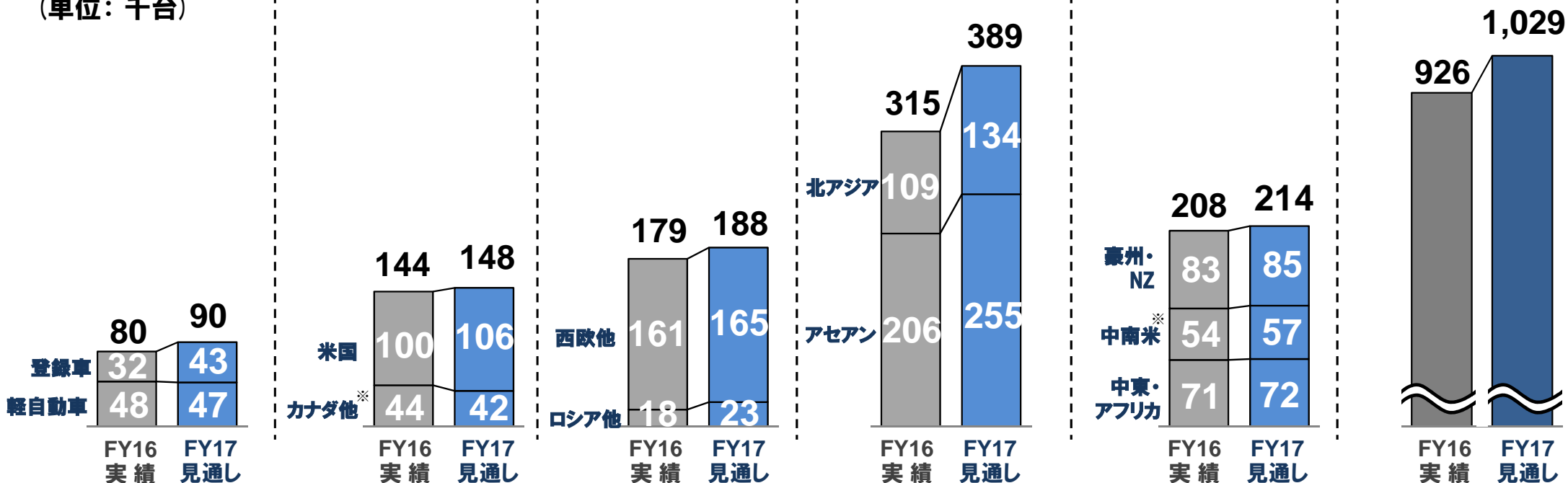


～ アセアン、北アジア、日本を中心に台数増～

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
----	----	----	-----	-----	----

《前年度実績対比増減》					
+ 10 (+ 13%)	+ 4 (+ 3%)	+ 9 (+ 5%)	+ 74 (+ 23%)	+ 6 (+ 3%)	+ 103 (+ 11%)

(単位：千台)

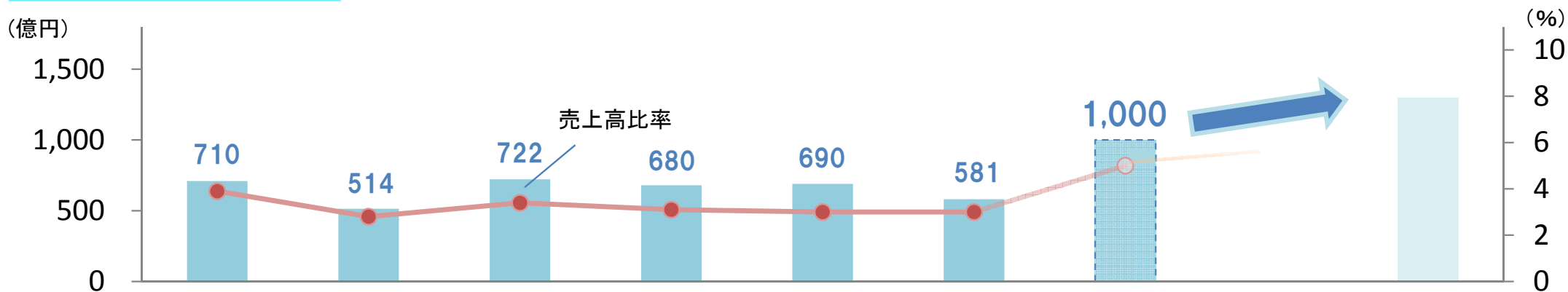


※FY17よりプエルトリコは「その他」から「北米」に地域区分を変更。それに合わせ、上記グラフのFY16実績も同様に変更

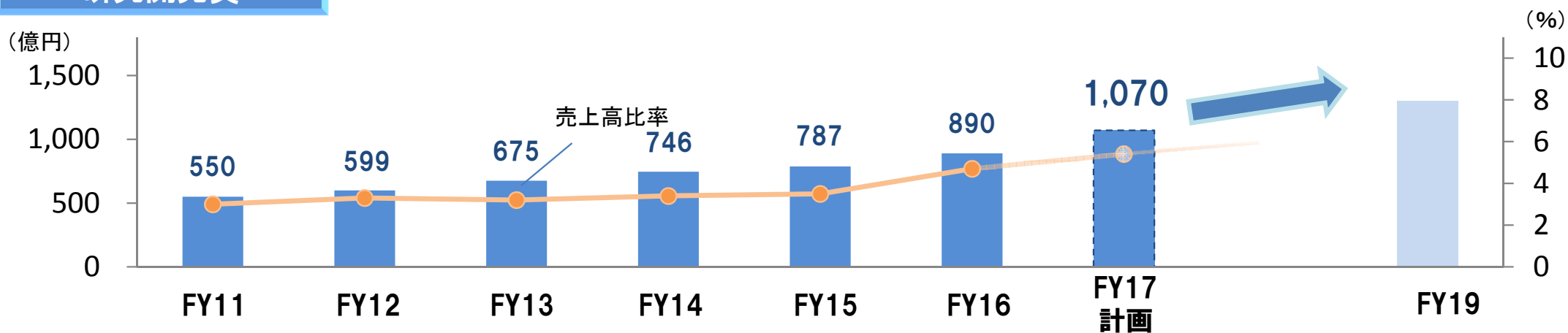
設備投資・研究開発費

～ 将来成長に向けた投資を積極化 ～

設備投資



研究開発費



2017年度 営業利益見通し増減分析【前年度対比】

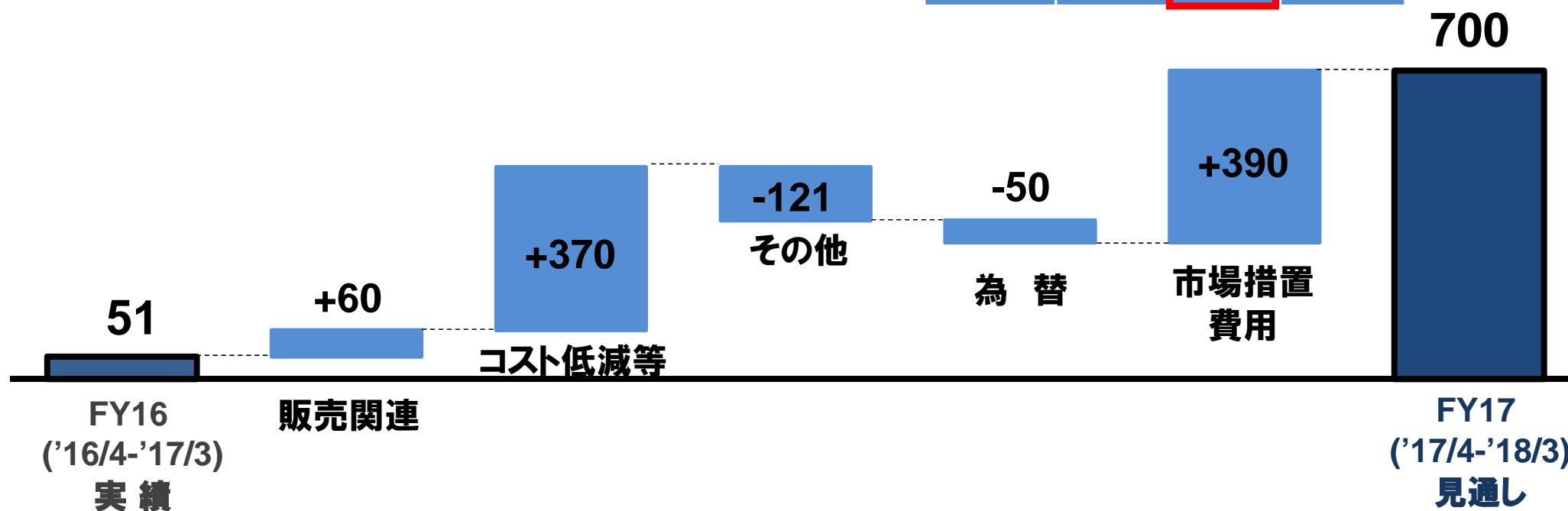


(単位：億円)

販売関連 内訳	
台数・車種構成等	+210
販売費	-150
合計	+60

その他 内訳	
研究開発費の増加	-180
その他	+59
合計	-121

主要通貨別内訳	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY16	FY17	
米ドル	109	105	-80
ユーロ	119	115	-60
タイバーツ	3.12	3.05	+70
その他			+20
合計	-	-	-50



今後の取り組み

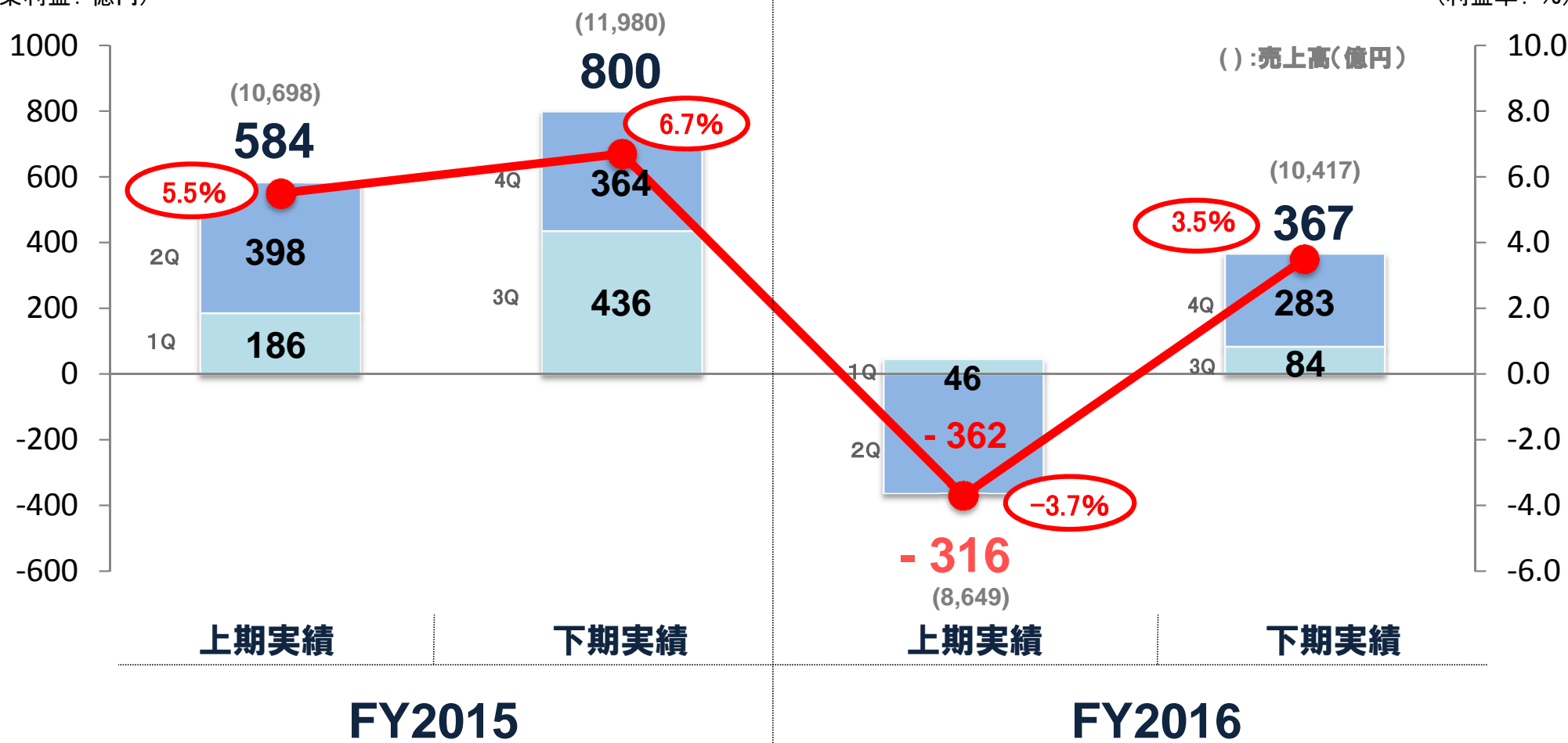


『MITSUBISHI XM Concept』

2016年度の振り返り ～収益改善～

(営業利益: 億円)

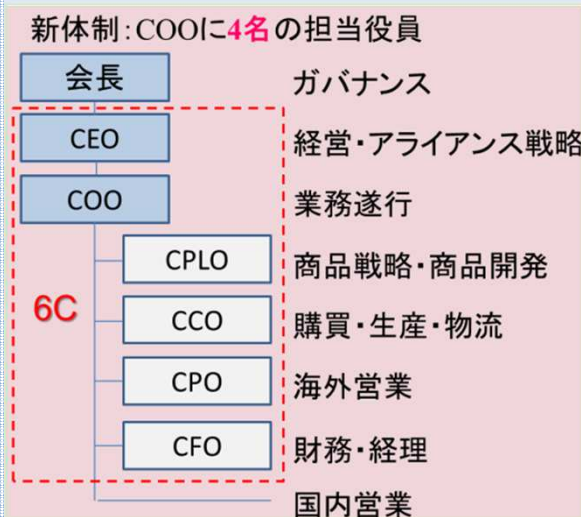
(利益率: %)



組織・体制の変更

経営の仕組みの変更

マネジメントの権限明確化により
意思決定の迅速化

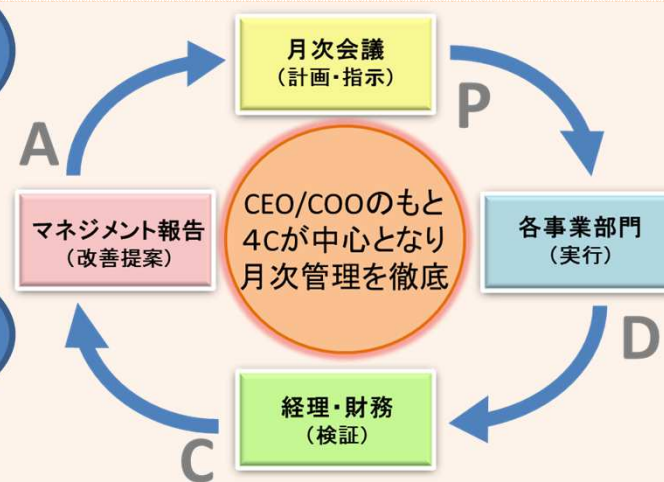


評価・報酬体系
の見直し

DOA
権限委譲

日産自動車
との人事交流

経営管理の強化



損益管理におけるPDCAのイメージ

主要施策：アセアン

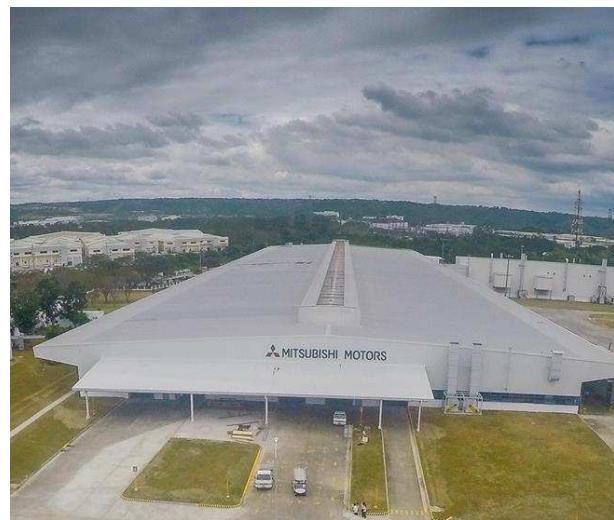
● インドネシア 4月より新工場を稼働



工場概要

生産能力: 16万台/年
敷地面積: 30ヘクタール
従業員数: 約3,000名 (2018年3月)
生産車種: 『パジェロスポーツ』、
小型MPV、『COLT L300』

● フィリピン 5月よりミラージュの生産を開始



工場概要

生産能力: 5万台/年
敷地面積: 21ヘクタール
生産車種: 『アドベンチャー』、『L300』、
『ミラージュG4』、
『ミラージュ』

主要施策：中国

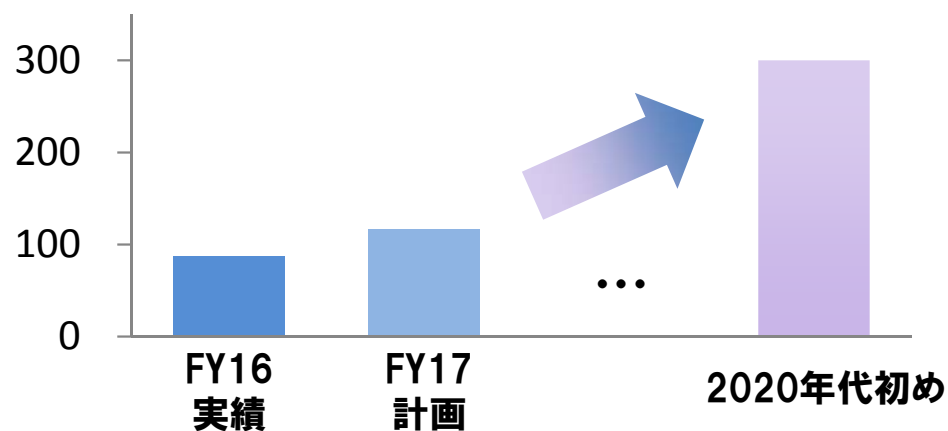
- 現地生産化したアウトランダーの更なる拡販
- 商品ラインナップの強化
- ディーラーネットワークの強化
- エンジンの現地生産：18年稼動、15万台/年

⇒2020年代初めに30万台以上の販売を目指す



(単位：千台)

中国の販売台数(小売)



グローバルモデルの投入

『エクリプス クロス』：17年度後半より順次、世界展開



地域戦略車種の投入

『MITSUBISHI XM Concept』



アライアンスの進捗：共同購買・物流・販売金融を中心に

クロスカンパニーチーム(CCT)：32チームを発足させ、各領域でのシナジー検討を開始

共同購買活動

① タイでの車両共同輸送



② ベンチマークデータを活用したコスト低減



技術の共有

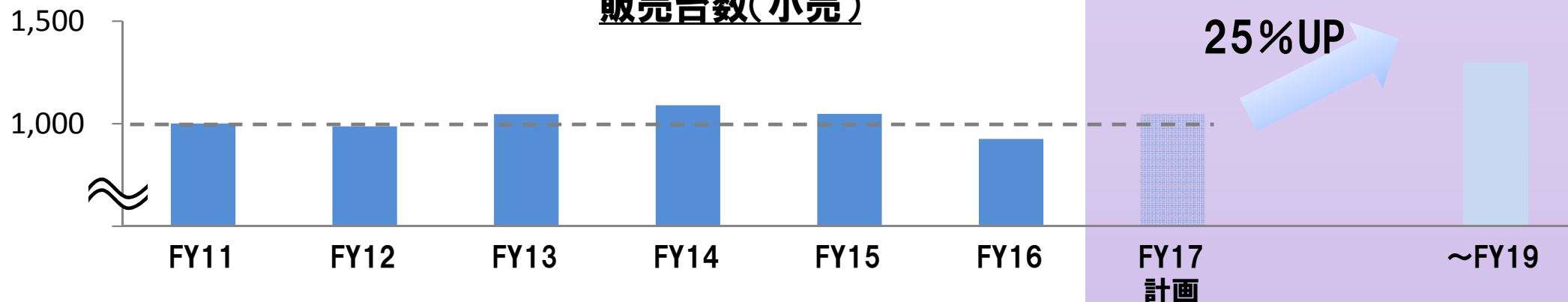
③ インドネシアMPV OEM、PHEV技術の活用



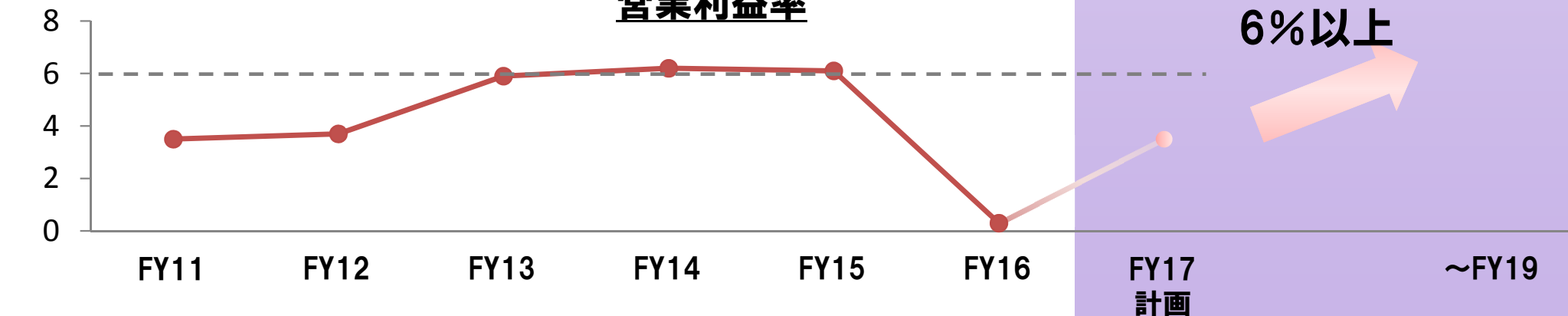
当社の目指すべき姿

成長投資を積極化し、規模の成長と収益のV字回復へ

(単位: 千台)



(単位: %)



Appendix

燃費不正問題関連損失

(単位：億円)

項目	期初見通し (16年6月公表)	2016年度 実績	差異 (実績-期初)	2016年度 見通し (1月公表)	差異 (実績-1月見通し)
営業利益への影響	- 550	- 360	+ 190	- 400	+40
特別損失	- 1,500	- 1,655	- 155	- 1,597	- 58
お客様へのお支払い	(- 500)	(- 586)	- 86	(- 582)	- 4
上記以外のお お客様窓口関連	(- 150)	(- 176)	- 26	(- 168)	- 8
販売関連	(- 400)	(- 414)	- 14	(- 408)	- 6
生産・購買関連	(- 350)	(- 360)	- 10	(- 334)	- 26
その他	(- 100)	(- 119)	- 19	(- 105)	- 14
合計	- 2,050	- 2,015	+35	- 1,997	- 18

2016年度 地域別業績【前年度対比】



(単位：億円)

	FY15 実績 ('15/4-'16/3)	FY16 実績 ('16/4-'17/3)	増減
売上高	22,678	19,066	-3,612
- 日本	4,129	2,973	-1,156
- 北米	3,248	2,971	-277
- 欧州	5,146	4,335	-811
- アジア	4,826	4,335	-491
- その他	5,329	4,452	-877
営業利益	1,384	51	-1,333
- 日本	-24	-358	-334
- 北米	62	-166	-228
- 欧州	221	-216	-437
- アジア	749	512	-237
- その他	376	279	-97

2017年度 地域別業績見通し【前年度対比】



(単位：億円)

	FY16 実績 ('16/4-'17/3)	FY17 見通し ('17/4-'18/3)	増減
売上高	19,066	20,000	+934
- 日本	2,973	3,500	+527
- 北米	2,971	3,200	+229
- 欧州	4,335	4,400	+65
- アジア	4,335	5,200	+865
- その他	4,452	3,700	-752

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



mitsubishi MOTORS